HEATEC IHクッキングヒーター ビルトインタイプ

施 工 説 明 書

■EC-722IW, EC-722CW

- この商品を安全に正しく設置していただくために、設置工事の前にこの説明書をよくお読みになり、この説明書にしたがって確実に設置工事を行なってください。
- 設置工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この説明書は工事完了後、お客様にお渡しし、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示とその意味は、次の様になっています。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的傷害の発生が想定される内容を示します。

※傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
※物的傷害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

■絵表示の例

下に示す記号は、説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。
書かれている内容を注意深くお読みください。

分解禁止

この記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示します。
⃠の中や近くに、してはいけない内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

アース工事

この記号は、必ずして欲しい行為を示します。
●の中に具体的な指示内容（左図の内容は、アースの工事を必ず行なうこと）が描かれています。

感電注意

この図記号は、警告（注意を含む）を促す事項を示します。
△の中に具体的な警告事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⚠警告

施工説明書をよく読み正しく確実に工事すること
不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。

よく読め

電源は200V20A以上の専用回路と漏電遮断器を設置すること また、電源プラグ（250V-20A）に合った専用コンセントを単独で使用すること
電源回路の容量不足や設置工事不備があると感電・火災の原因となります。

回路を単独に使用

据付け工事は専門業者に依頼すること
ご自分で据え付け工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因となります。

専門業者

アース工事を行うこと
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

設置工事は、機器の重量に十分耐える所に確実に行うこと
耐重量不足や取り付けが不完全な場合、機器の落下や転倒によりけがの原因となります。

電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」、及び施工説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること。また、電圧は製品の定格電圧に合わせること
電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因となります。

設置工事部品は、必ず付属品または、指定の部品を使用すること
異なった部品を使用すると、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因となります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

⚠注意

トッププレートに衝撃を加えないこと
ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因となります。

禁止

試験運転中は、トッププレートなど高温部に触れないこと
やけどの恐れがあります。

接触禁止

ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使うこと
熱硬化樹脂化粧版（JIS･K･6903）またはこれと同等以上のもの。
耐熱性の低い材料を使用すると、変形･火災の原因となります。
※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

工事される方へのお 願 い

- この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定された工事を行ってください。
- 工事完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1．電気工事および接地工事

■ 電源工事や接地工事は「**電気設備技術基準**」ならびに「**内線規程**」に準じてください。

■ 電源は20A専用回路（ブレーカ付）を設けてください。電源は必ず単相3線式200Vを使用してください。
3相電源の1相での使用はしないでください。故障の原因となります。
万一のときの安全のために、漏電遮断器の設置をお願いいたします。
● 推奨漏電遮断器：定格電流30A、感度電流30mA

■ 電源コンセント：埋込コンセント……単相3線式定格250V20A（二極 接地極付）
● 電源コードの直付は絶対にしないでください。

■ アース工事を必ず行ってください。（D種接地工事）
● 上記コンセントの一極接地用に配線してください。

⚠注意 アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

コンセントの差し込み形状

● 電源コンセントは、（200V，20A以上）のものを専用に設けてください。位置は、電源コードの長さ（0.6m）の範囲とし、修理時などに電源プラグが抜けるようにしてください。

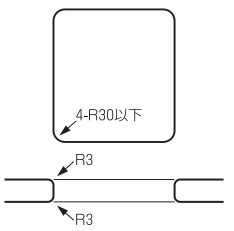
電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いします。

2．人造大理石ワークトップへ取り付けされる際のお願い

■ 人造大理石ワークトップは、加工状態や、高温条件によっては、クラック（ひび）の入ることがあります。下記の要領で加工し施工してください。

⚠注意 人造大理石の種類によっては、断熱テープ等の対策が必要となる場合があります。

開 口 部 の 加 工

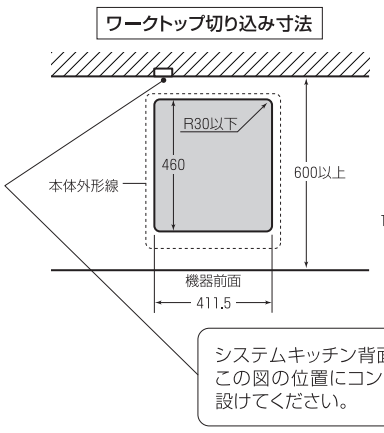


- 穴あけはルーターを使用してください。
- 4コーナーのRはR30以下で極力大きく加工してください。
- 切断面の上下エッジは、R3の面取り加工を行ってください。または#240のサンドペーパーでエッジを丸く落としてください。

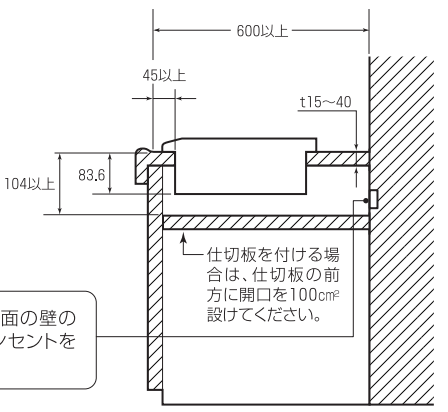
3．システムキッチンとの関係寸法図

単位:mm

■ 取り付け穴（上面図）



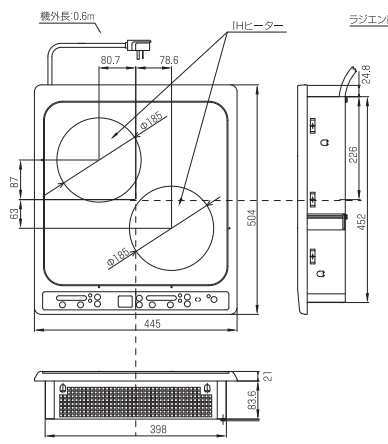
■ 側面図
露出型コンセントも取り付けが可能です。



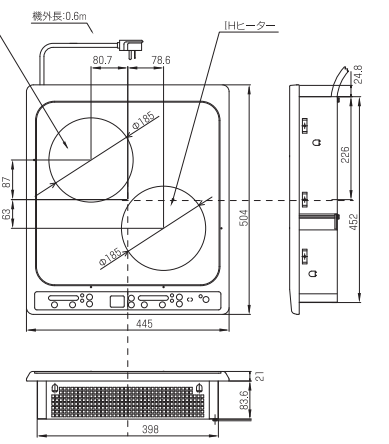
4．製品外形寸法図

単位:mm

■ EC-722IW



■ EC-722CW



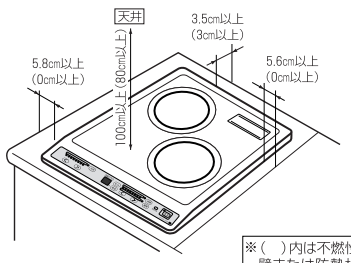
裏面につづく

5. 設置場所の確認

■本体端からの離隔距離

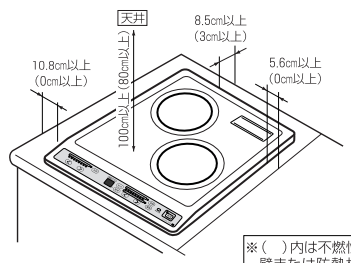
● 消防法の離隔距離の基準を満足する為の本体端からの離隔距離を記載しています。

EC-722IW



※(　)内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合。

EC-722CW

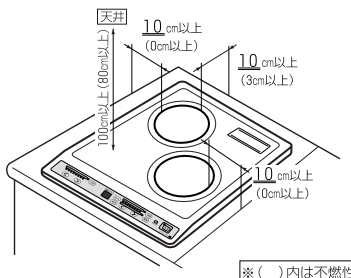


※(　)内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合。

■消防法で規定する離隔距離の基準

EC-722IW

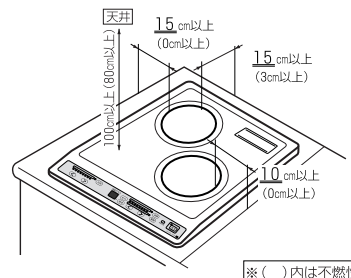
消防法　基準適合　組込形				
可燃物からの離隔距離(cm)				
上方	右方	左方	前方	後方
100	10	10	0	10



※(　)内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合。

EC-722CW

消防法　基準適合　組込形				
可燃物からの離隔距離(cm)				
上方	右方	左方	前方	後方
100	10	15	0	15

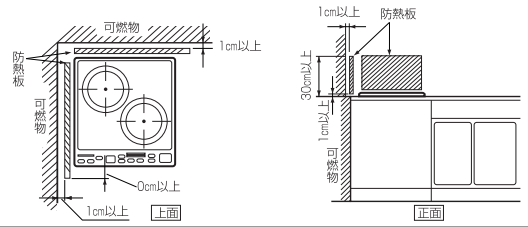


※(　)内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合。

(　)で表記する不燃性の壁または防壁板を取り付けた場合の離隔距離のうち後方部分(3cm)は、機器内部の排気に必要な離隔距離です。

● 可燃性の壁より、上記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。

＜防熱板設置例＞



● 本体の一部が家屋の壁中のワイヤラスに接触したり、金属製の防熱板とステンレス製ワークトップが接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電気的に接触しないようにしてください。
● 本体をタイルやモルタルで、**塗り込まない**ようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
● **湿気のすくないところ**に設置してください。
● **十分換気**のできるところに、設置してください。
● 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など**燃えやすいものは、置かない**ようにしてください。
● ワークトップは、熱硬化樹脂化粧板(JIS･K･6903)または、これと同等以上の材料を**お使い**ください。
● ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますので、**お使いにならない**でください。

⚠注意

この機器を設置される台所が、建築基準法に定める[内装制限を受ける調理室]に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

● 設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。
● 本機を設置する天板の下方へ、ガスオーブンその他の加熱機器を組込むことはお避けください。

内部の温度が上昇しすぎると、安全装置が働いて本機の作動が停止したり、故障の原因になることがあります。

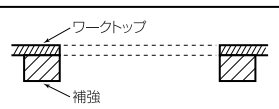
常温35℃以上の高温にならないところに設置してください。

■ ワークトップについて

十分な強度のワークトップを使ってください。

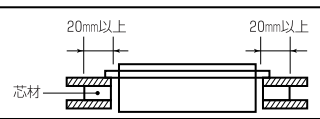
薄板(ステンレスなど)の場合

● 打ち抜き穴の場合裏打ちなどで補強してください。



フラッシュ構造(中空構造)の場合

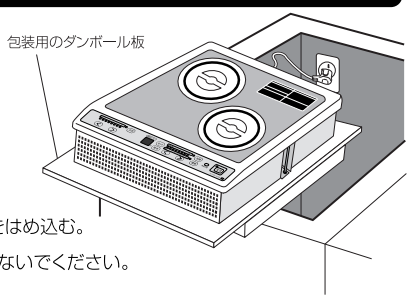
● 必ず、本体を受ける位置に芯材がくるようにしてください。



6. 設置する

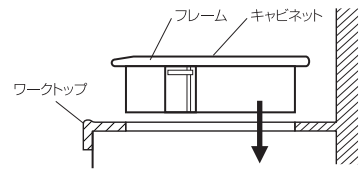
1 電源プラグをコンセントに差し込む。

● ワークトップに傷をつけないように包装用のダンボール板を敷いてください。



2 ワークトップに本体を水平にし、まっすぐにおろし全体をはめ込む。

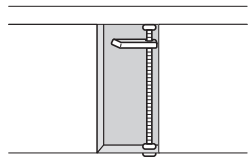
● はめ込み時は、電源コード等をワークトップに当てないでください。(キズにより感電、火災の原因となります。)



※ 膨らみに乗り上げないよう、フラット部にセットしてください。

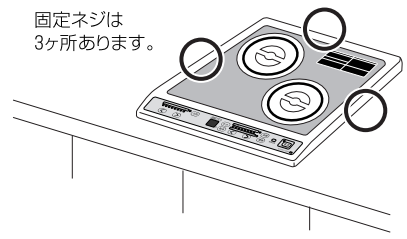
3 固定金具を固定する。

● ねじを右に回してワークトップに確実に固定する。

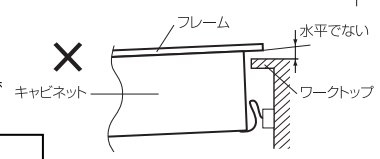


(固定金具が上に移動してワークトップに押え付けられシール性が確保されます。)

固定ネジは3ヶ所あります。

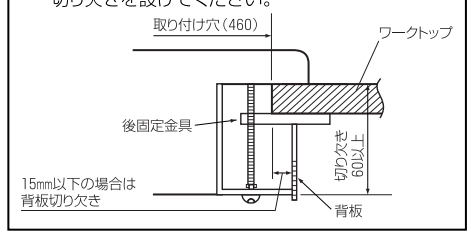


● フレームとワークトップが、前後左右水平であることを確認してください。



キャビネットの後方に背板がある場合

● 背板位置がキャビネットの取り付け穴から40mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。



⚠注意

インパクトドライバーは使わないでください。
締付けトルクは1.5N･m(15kgf･cm)以下にしてください。

4 設置完了。

● 取扱説明書・施工説明書・保証書をお客様にお渡しする。

7. 工事完了後の確認

■ 設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

設置工事確認証

チェック項目		チェック
電気工事	●設置工事	
	●漏電ブレーカーの設置	
	●電源プラグの接続	
電気試験	①ブレーカーを"入"にする。 ②電源電圧が200Vであることを確認する。 ③主電源キーを約2秒押して"入"にする。 → 電源ランプが点灯する。 ④鍋を置く。	
	⑤各ヒーターの動作をチェックする。 ●右ヒーターのチェック • 加熱キーを約0.5秒押す。 → 加熱ランプが点灯します。 火力が「中」に設定され、加熱が始まります。 火力表示ランプが点灯します。 • 「上げる」「下げる」のキーを押す。 → 火力が調節されます。 • 加熱キーを押す。 → 加熱ランプ及び火力表示ランプが消灯します。 • 主電源キーを押す。 → 入ランプが消灯します。	
	●左ヒーターのチェック 上記右ヒーターと同じ操作です。同様に上記のキーで操作して確認してください。	

注　意	鍋を置かない場合や、使用できない鍋を置いた場合又は使用中に鍋を外した場合、火力表示及びその時の運転モード(過熱又は揚物)表示が点滅し、約1分後に自動的に運転が停止します。

株式会社HEATEC
〒140-0013 東京都品川区南大井3-12-13 TEL.(03)3768-6111

0.5K69-CM0608A